

連合長崎第30回定期大会

安心社会へ 果敢にアクション！

～広げよう「理解・共感・参加」の輪～



連合長崎は、10月23日(木)長崎県勤労福祉会館にて第30回定期大会を開催しました。

大会は、川田副会長の開会あいさつにはじまり、議長団に日教組・三浦裕樹代議員、自動車総連・平元亮人代議員、自治労・本多英樹代議員を選出して議事が進められました。

冒頭、高藤会長があいさつ(別記)を行い、ご来賓として、連合本部 富田珠代副事務局長、長崎県 大石賢吾知事、長崎労働局 倉永圭介局長、長崎市 鈴木史朗市長、国民民主党長崎県連 深堀浩副代表、立憲民主党長崎県連 白川鮎美幹事長、社会民主党長崎県連合 堤典子代表にご挨拶をいただきました。

その後、組織拡大表彰を行い、2024年10月24日の第50回地方委員会から今回の定期大会までの一年間で組織拡大実績のあった組織へ表彰を行いました。また、愛のカンパ贈呈式も行いました。

次に、報告事項に入り、一般経過報告、特別報告(2025春季生活闘争総括、第27回参議院議員選挙総括、2024-2025組織財政検討委員会答申、ジェンダー平等推進計画フェーズ1総括)、2025年度会計報告・会計監査報告を行い、承認されました。

審議事項では、第1号議案「2026年度・2027年度運動方針(案)」、第2号議案「2026年度予算(案)」、第3号議案「連合長崎地協再編統合(案)」、第4号議

案「連合長崎規約・規定類の改定について(案)」、第5号議案「連合長崎「ジェンダー平等推進計画フェーズ2」(案)」、第6号議案「連合長崎役員選出(案)」の提案を行い、それぞれが承認されました。

この大会で、高藤会長をはじめ15名の役員が退任をしました。役員をされた皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、岩永会長・中島事務局長の新体制で「組織強化・拡大」「格差是正」等の諸課題に取り組んでいきます。

最後に岩永新会長のガンバロー三唱で、安心社会へ果敢にアクション！～広げよう「理解・共感・参加」の輪～のスローガンのもと、各構成組織、地協・ブロックと連携しながら、今後2年間の取り組みを進めていくことを誓い合いました。



議長団：(右)自治労
 (中)自動車総連 本多代議員
 (左)日教組 三浦代議員

高藤会長あいさつ



皆さんこんにちは！
会長を務めています「高藤」です。

代議員、特別代議員、そして役員の皆さん、本日は県下各地から、ご参集頂きまして、ありがとうございます。

また、ご来賓の皆さまには、大変ご多忙の中、私どもの定期大会にご出席頂き、誠にありがとうございます。後ほど、ご紹介させて頂き、ご挨拶を賜りたいと思いますが、構成員を代表してお礼申し上げます。

さて、本日の定期大会は、時代が大きく動いている中で、向こう2年間の運動方針を審議して頂く事になります。構成組織、地協、ブロックが、一丸となって取り組むことが出来る方針となるよう、活発な意見反映を、宜しくお願い致します。

私からは、大会冒頭に、この一年間を振り返りつつ、大きく3点について申し上げます。

1点目は、春季生活闘争についてです。

2025春季生活闘争については、これまでも報告してきた通り、昨年に引き続き5%以上の「賃上げ」が実現されました。後ほど、とりまとめの報告がされますが、この結果は、近年の物価上昇による家計への影響や、企業存続のための人材確保や定着を重視して、労使が真摯に、交渉を行った結果だと受け止めています。

そして、この結果をプレス発表することで、長崎県の相場形成にも影響を与えましたし、地域別最低賃金

や人事院勧告にも反映されています。

最低賃金は、労側委員の粘り強い意見反映によって、目安の64円を大きく上回る78円を引き出し、1,031円となりまして、やっと、1,000円の大台に乗せることができました。

各組合の懸命な賃金交渉によって、地場の底上げができています。

また、公務職場では、現在、確定闘争が進行形だと思いますが、是非、納得のいく回答を引き出して頂きたいと思っています。

しかし、今後に向けては、まだ大きな政策的課題が残っています。

それは、賃上げが過去最高となっても、実質賃金はプラスに転じていない事。もう一つが、賃上げの詳細を見ると、中手と小規模企業の間でも、格差が出ている事です。

この度の物価上昇は、企業にとっても原材料費や人件費、光熱費といった、全てのコストが上昇しているので、特に、小規模企業においての自助努力では、限界を迎えている状況です。全国的にも、人手不足や物価高による小規模企業の倒産が目立って来ました。

危機感を、あおるつもりはありませんが、この状況が、更に拡大して行けば、働く場所が無くなり、日本経済も疲弊して行く事が懸念されます。

この長崎県は、中小企業がほとんどですから、長崎経済のためにも、中小企業の支援は重要で、その対応も「ギリギリの局面を迎えているもの」と思っています。

従って、連合長崎は、長崎の企業が、物価上昇に飲み込まれることなく、しっかりと世間の流れに着いて行けるために、これまで進めてきた「価格転嫁」と「公正な取引慣行」の実現、そして「中小企業への真水の支援」の具現化に向け、全力で取り組んで参ります。



ご来賓あいさつ
連合本部 富田副事務局長



ご来賓あいさつ
長崎県 大石県知事



ご来賓あいさつ
長崎労働局 倉永局長



ご来賓あいさつ
長崎市 鈴木市長



ご来賓あいさつ
国民民主党長崎県連 深堀副代表



ご来賓あいさつ
立憲民主党長崎県連 白川幹事長



ご来賓あいさつ
社会民主党長崎県連合 堤代表

これから、2026春季生活闘争の方針が策定されていきますが、連合本部と一体となって、政策面の環境整備を進めることで、「賃上げの流れ」を止めることなく、実質賃金をプラスに転じさせ、真の「働くことを軸とする安心社会」をめざして行きます。

2点目は、政治活動について申し上げます。

今年の第27回参議院選挙は、大変お疲れ様でした。

厳しい闘いとなりましたが、比例代表では、連合組織内の9名を当選させることが出来ました。長崎選挙区においては、国民民主党の「深堀ひろし」前県連幹事を推薦し闘いましたが、残念ながら自民党の力に完敗と言う結果でありました。

本日、選挙総括を報告しますが、今回の結果を踏まえて、各組織においても、勝つために何をするべきか、検証をお願いします。

ただ、全国的には参議院でも、少数与党に追い込むことが出来ました。その後、自民総裁選があり、公明党の連立離脱、野党としての総理大臣一本化の調整など、色んな動きが有りましたが、最終的には、自民と維新が連立を組んで、21日の臨時国会において、自民党の高市総理大臣が誕生しています。

少数の与・野党となって、政局が不安定な状況ですが、この状況が国民生活に、どのように影響するのか、私たちは注視するしかありませんが、先ほどの賃上げの話の通り、物価高対策など、国民の置かれた環境は、待ったなしの極めて厳しい状況にありますから、早く国民を守るための課題解決に向け、議論を進めて頂きたい。

その様な意味でも、立憲・国民・社民には、これまで同様、頑張ってもらいたいと思っています。

ともあれ、参議院選挙は、大変お疲れ様でした。

次に、長崎県の話になりますが、来年2月には知事選が施行されます。皆さん報道でご承知ですから端的に言います。大石知事が、ご来賓としてお見えですが、大石知事から連合長崎に、推薦願いが出されました。また、前副知事の「平田 健」氏からも、推薦願いが出されています。

今後、連合長崎として、ご両人と面談したうえで、どのような対応をとるのか、執行委員会で結論を出す事になります。

長崎県のリーダーを決める選挙ですので、連合長崎の政治方針に沿って、責任ある対応をとっていきますので、各組織のご協力をお願い致します。

3点目は、平和行動についてです。

今年は、被爆・終戦から80年の節目の年です。

この節目の年に併せて、ITUC（国際労働組合総連合）のリュック書記長をはじめ、加盟国であるアメリカ・イギリス・ドイツ・アジアの代表が、広島集會に集結しました。この方々は、日程の確保が難しい役職なんですけども、ナガサキ集會にも、リュック書記長とイギリス・アジアの代表に、参加して頂きました。そして、鈴木市長には、その皆さんとの意見交換に対応して頂いています。

今回の訪日で、特に、アメリカの代表が来られた事は、非常に意義深い事だと思っています。

組合員5,000万人の代表として、原爆資料館の見学や被爆体験談を聞かれ、私たちとの意見交換では、自国でも核兵器廃絶に取り組むことを約束してくれました。その他の国の代表も同様です。

世界では、残念ながら未だに紛争が続いています。その犠牲になるのは、いつも国民です。争いが続けば、犠牲者は増えますし、核兵器使用の危機も大きくなってきます。

今回の広島・長崎の集會は、世界がこのような状況の中で「世界の恒久平和」を求める声を、更に強めて行く事がテーマでしたので、SNSの発信も含めて、確実に世界に広める事ができて、大いに意義あるものになったと思っています。

連合長崎は、これからも被爆地長崎の労働組合として、「核兵器廃絶」と、「世界の恒久平和」を求めて、活動して行く事を皆さんと共有しておきます。

最後に、ご来賓の皆様がおられる時に、私事のご報告とお礼をさせていただきます。

私は、この定期大会をもって連合長崎会長を退任します。

事務局長4年、会長4年、8年間、連合長崎に携わりましたが、これまでの間、構成組織・地協・ブロックの皆さんはもとより、ご来賓の各団体の皆様、そして行政の皆様には、大変お世話になりました。この場をお借りして、お礼を申し上げます。

今後は、こくみん共済coop本部長として、組合活動の原点となる共済活動に邁進して参りますので、今後とものご指導を、宜しくお願い致します。

併せて、本日、役選委員会から新役員体制の答申がなされますが、満場一致でのご確認を、私の方からもお願いしておきます。

8年間、本当にお世話になりました。

以上、私事を含めると、4点になりましたが、これで終わります。

連合長崎は、中央会費制度に対応するなど、新たなステージへと変わっていく重要な時期を迎えています。その中でも、子や孫に幸せな未来を残すために、力を合わせて活動を進めて行きましょう！

皆さんの絶大なるご協力をお願いし、連合長崎を代表しての挨拶とします。本日は、宜しくお願い致します。（原文どおり）



2026・2027年度 連合長崎役員

役 職		氏 名				組 織 名			
会 長	専 従	岩 永	洋 一		新	J P 労 組			
副 会 長 (7)	非専従	菊 永	昌 和		再	自 治 労			
		林 瀬	憲 治		再	U A ゼ ン セ			
		荒 瀬	智 幸		新	基 幹 労			
		三 重	英 也		新	J P 労			
		堀 江	信 太		再	電 力 総			
		小 林	太 樹		新	電 機 連			
山 口	裕 志		再	運 輸 労					
事 務 局 長	専 従	中 島	昭 次		新	基 幹 労 連			
副 事 務 局 長 (3)	専 従	中 嶋	聖 子		再	自 治 労			
執 行 委 員 (21)	非専従	中 津	嶋 崎	聖 祐	再	自 電	力 合	総 長	労 連
		立 山	哲 朗	新	電 連				崎
		吉 田	光 助	新	自 動 車 総				連
		柿 原	幸 一	再	国 公 ド 連				合
		川 原	秀 昭	再	フ ー ド				合
		野 原	教 博	再	交 通 報				連
		井 手	順 博	再	情 報 員				連
		松 本	賀 一	再	海 自 治				合
		田 平	博 幸	再	私 鉄				連
		林 増	悟 貴	新	J R				連
		豊 原	之 大	再	日 全 教				組
		上 比	明 幸	再	全 自 交				金
		高 吉	公 昌	再	長 崎 電 気				連
		末 東	克 典	再	佐 世 保				組
		寺 脇	博 也	再	長 崎 地				協
瀨 上	美 敏	再	佐 早 島				協		
吉 田	忠 綾	再	諫 大 五				協		
川 山	未 朝	再	大 東 島				協		
松 田	香 来	新	五 島				協		
前 木	来 朝	新	女性代表 (自 治 労)				連		
荒 倉	麻	新	女性代表 (電 力 総 連)				組		
倉 橋	朝 樹	新	女性代表 (日 教 組)						
会 計 監 査 (3)	非専従	村 田	元 輝		再	自 治 労			
		橋 田	和 廣		再	交 通 労			
		土 井	晴 樹		新	全 労			金

第30回定期大会をもって退任された役員の皆さま (敬称略)

会 長	高藤 義弘（基幹労連）	執 行 委 員	嵩 靖文（私鉄総連）
副 会 長	川内ひろこ（ＪＰ労組）	〃	森 忠吉（全自交労連）
〃	川田 隆往（電機連合）	〃	塩田 淑文（長崎地協）
副事務局長	種村 和久（自治労）	〃	横田 草子（女性代表・フード連合）
	縄本 恵太（基幹労連）	〃	亀本 薫（女性委員会・自治労）
	西野 輝夢（電力総連）	〃	山口 明子（女性委員会・全労金）
執 行 委 員	江島 浩介（自動車総連）	会 計 監 査	浅井 健汰（全労金）
〃	白下 潤一（フード連合）		

大変お疲れ様でした。今後のご活躍を祈念いたします。

「アジア・アフリカ支援米」各地区で稲刈り！

春に田植えを行った各地協・ブロックにおいて、9月～10月にかけて稲刈り作業を実施しました。

今年も多くのご組合員の皆さんをはじめ、ご家族の方々にも参加いただき、稲刈りを行うことが出来ました。

収穫された支援米は、現在、各構成組織へお願いしていますカンパ金で購入するお米と合わせ、来年1月にWFP(マリ共和国)、くっくま孤児院(カンボジア)、県内の子ども食堂、フードバンク(つなぐBANK)などの支援先に発送予定です。各地協・ブロックの役員、組合員・家族の皆様、ご協力ありがとうございました。

また、今年の1月にくっくま孤児院(カンボジア)に発送したお米が、無事到着したことの報告がありました。子どもたちも大喜びで元気に過ごしているとのこと、今後も引き続き支援していきますので、みなさまのご協力をお願いします。



くっくま孤児院の子どもたち
(カンボジア)

「連合長崎女性委員会ならびに連合長崎青年委員会 第36回総会回総会」を開催！

連合長崎女性委員会・青年委員会 発展的解散総会！

連合長崎女性委員会ならびに連合長崎青年委員会は、それぞれ11月22日(土)長崎県勤労福祉会館において、第36回総会を開催しました。

連合長崎第30回定期大会の報告事項における「2024-2025組織・財政検討委員会最終答申」の確認に基づき、今総会をもって解散となる両委員会の総会となりました。

女性委員会総会では、冒頭、女性委員会を代表して亀本委員長(自治労)があいさつを行い、引き続き来賓として連合長崎中島事務局長から激励のあいさつがありました。

報告事項では「2025年度活動経過報告」として、連合長崎ジェンダー平等推進委員会と女性委員会の共催による学習会や、男女平等参画実現に向けた取り組み、女性交流会の開催、連合長崎や青年委員会と連携した平和の取り組み等について報告を行い満場一致で承認されました。



女性委員会 2025役員体制

委員長	亀本 薫	自治労
副委員長	吉武 奏里	J P 労組
事務局長	倉橋 麻朝	日教組
幹事	流川 彩香	自治労
〃	佐々木 美紀子	基幹労連
〃	久保田 李奈 (～2025年7月)	電力総連
	荒木 未来 (2025年8月～)	
〃	佐藤 綾花	交通労連
〃	山口 明子	全労金

青年委員会総会では、冒頭、青年委員会を代表して吉田委員長(電機連合)があいさつを行い、引き続き来賓として連合長崎中島事務局長から激励のあいさつがありました。

報告事項では「2025年度活動経過報告」として、平和行動やボランティアへの取り組み、女性委員会との連携による春闘開始時期にあわせた2025春季生活闘争PR動画作成などについて報告を行い満場一致で承認されました。

連合長崎女性委員会ならびに青年委員会は、今総会をもって解散となりますが、連合長崎として青年・女性活動を「連帯／ジェンダー平等・多様性推進委員会」の活動に包含したうえで運動を展開していきます。女性委員ならびに青年委員の皆さんにおかれては、連合が掲げる「安心社会へ 果敢にアクション!～『広げよう理解・共感・参加』の輪～」を実現するため、単組・構成組織における労働組合での活動への引き続きの参画をお願いします。



青年委員会 2025役員体制

委員長	吉田 薫平	電機連合
事務局長	神崎 恵多	自治労
事務局長次長	松枝 佑弥	全労金
幹事	山中 勇大	自治労
〃	佐藤 千秋	UAゼンセン
〃	永田 孝平	基幹労連
〃	大谷 兼士	J P 労組
〃	松田 好弘 (～2025年7月)	電力総連
	市山 玲汰 (2025年8月～)	
〃	峰 明也	情報労連
〃	坂本 隼也	J R 連合
〃	一ノ瀬 悠太郎	長崎電気軌道労組

長崎県退職者連合・長崎地域退職者連合共催

第24回グラウンドゴルフ大会開催

11月18日(火)長退連・長崎地域退連共催の第24回グラウンドゴルフが開催されました。

冒頭、主催者を代表し、長崎県退職者連合池田会長(自治労退職者の会)が挨拶を行い、引き続き来賓として連合長崎岩永会長及び各政党や福祉団体、長崎地協からもご挨拶をいただきました。

当日は寒気南下により急激に気温が低下したなかでの開催となりましたが、総勢60名の参加者が、気温に負けない白熱した戦いを繰り広げました。栄えある優勝者は壇正弘さん(九電ユニオン友の会)！前大会まで6連覇であったディフェンディングチャンピオンに競り勝ち見事優勝されました！参加された皆さま、大変お疲れ様でした！



主催者代表挨拶
長退連 池田会長



来賓挨拶
連合長崎 岩永会長



優勝：壇 正弘さん
(九電ユニオン友の会・左)

順位	氏 名 (組織名)
優 勝	壇 正弘 (九電ユニオン友の会)
準優勝	松尾 安次 (九電ユニオン友の会)
第3位	三村 利之 (県友会長崎支部)



長崎大学へ寄附講座寄付金贈呈式を実施 ～現代の労働と労働組合～

2025年11月11日(火)、長崎大学経済学部にて寄附講座の寄付金贈呈式を実施いたしました。寄附講座は次世代を担う長崎大学の学生に対して労働のあり方や労働組合の役割について理解を深めてもらい、職業意識を高めてもらうことを目的として、毎年4月～7月末までの約4か月間で15講座を実施しているものです。

この協定は2014年に初めて締結され、以降、同講座が開講されてきました。

講座では、労働の現場に精通する労働組合役員をはじめ、長崎県、長崎市、長崎労働局、弁護士の方々を講師に招き、わが国の労働の現場における様々な課題や現場の生の声、そして、行政と労働組合の役割について講義を行っています。

寄付金贈呈式において、岩永会長からは「経済学部の皆さんは社会に出る一歩手前であるが、寄附講座を通じて、労働組合の大切さや行政と労働組合の関わり等知ってもらう機会となるよう今後とも有意義な講座としていきたい」とコメントがありました。

今年度も4月～7月末にかけて寄附講座を行い、理解促進・職業意識向上に取り組んでいきます。





連合ながさきユニオン第13回定期大会 ～連合ながさきユニオン、新たなステージへ!～

連合ながさきユニオン第13回定期大会が2025年11月17日(月)に長崎県勤労福祉会館3階大会議室で開かれました。大会では、2025年度一般経過報告や会計決算、会計監査報告等を行った後、2026年度の運動方針、予算および「地域ゼネラル連合」結成を踏まえた規約改正等が確認されました。

連合ながさきユニオンは「1人でも加入できる労働組合」として2014年3月29日に結成され、組合員11人でスタートしましたが、現在では約30人の組合員が加入しています。

突然の解雇やパワハラなど厳しい労働環境の中で連合ながさきユニオンを頼り、相談し、組合員となって交渉を重ねながら、解決に向けて頑張っています。しかし、誰にも相談することが出来ずに劣悪な環境で仕事を余儀なくされている働く仲間がたくさんいる現状から、「連合ながさきユニオン」の社会的役割と使命はますます大きくなっています。

連合では2026年2月から「地域ゼネラル連合」がスタートすることから、連合ながさきユニオンも「地域ゼネラル連合」に参画することとなります。中島新執行委員長のもと、これまでの10数年間を振り返りながら、地域の相談窓口としての機能を追求し、地域で働くすべての労働者の心の拠り所となれるようこれからも活動をしていきますので各構成組織・各地協のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



第13回定期大会の様様



中島新執行委員長によるガンバロー三唱